

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No. 1

※全ての学校種で、千葉市立の学校を除く。

※小学校は義務教育学校（前期）2校を含み、分校2校は本校で回答。また、中学校は義務教育学校（後期）2校及び県立中学校2校を含む。

※高等学校は、全日制（県立、市立）126校、定時制17校、通信制1校。また、特別支援学校は市立2校を含む。

質 問 項 目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
学校数（園・校）	116		680		324		144		38		1302	
園児児童生徒数（人）	8,024		263,298		124,811		101,363		6,175		503,671	
自転車通学者のいる学校（校）			15	2.2%	212	65.4%	144	100%	22	57.9%	393	33.1%
自転車通学者（人）			457	0.2%	32,251	25.8%	45,043	44.4%	254	4.1%	78,005	15.7%
スクールバス利用者（人）	1,110	13.8%	3,594	1.4%	740	0.6%	24	0.02%	3,328	53.9%	8,796	1.7%
その他のバス利用者（人）	2	0.02%	1,862	0.7%	393	0.3%	6,191	6.1%	737	11.9%	9,185	1.8%

【1 学校安全計画・危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）について】

質 問 項 目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
問1 「平成30年度の学校安全計画」を見直しましたか。												
① 見直した。	116	100.0%	680	100.0%	324	100.0%	144	100.0%	38	100.0%	1,302	100.0%
		+3.3P		+0.7P		+2.5P		+5.6P		+2.6P		+2.0P
② 見直していない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
問2 「平成30年度の学校安全計画」について、平成30年度4月に教職員等へどのように周知しましたか。												
① 学校安全計画を配付し、会議等で説明した。	101	87.1%	640	94.1%	289	89.2%	127	88.2%	34	89.5%	1,191	91.5%
		+6.9P		+0.6P		+0.7P		-2.1P		+2.7P		+1.0P
② 学校安全計画を配付し、説明はしていない。	15	12.9%	40	5.9%	35	10.8%	17	11.8%	4	10.5%	111	8.5%
③ 周知していない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
問5 平成30年度4月に、危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）を見直しましたか。												
① 見直した。	116	100.0%	680	100.0%	324	100.0%	144	100.0%	38	100.0%	1,302	100.0%
		+9.9P		+4.1P		+5.6P		+13.2P		+2.6P		+6.0P
② 見直していない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
問6 平成30年度4月に、危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）を教職員等へどのように周知しましたか。												
① 危機等発生時対処要領を配布し、会議等で説明した。	96	82.8%	577	84.9%	257	79.3%	121	84.0%	31	81.6%	1,082	83.1%
		+5.1P		+0.6P		-3.6P		-1.4P		-7.9P		-0.5P
② 危機等発生時対処要領を配布し、説明はしていない。	20	17.2%	103	15.1%	67	20.7%	23	16.0%	7	18.4%	220	16.9%
③ 周知していない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No. 2

【2 安全点検（通学路の安全確保を含む）について】

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計		
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
平成30年度は安全点検を何回実施する予定ですか。													
問3	① 毎学期1回の年3回	4	3.4%	6	0.9%	11	3.4%	97	67.4%	3	7.9%	121	9.3%
	② 毎月1回の年12回	103	88.8%	654	96.2%	311	96.0%	30	20.8%	35	92.1%	1,133	87.0%
	③ 2～3か月に1回の4回から6回程度	1	0.9%	5	0.7%	0	0.0%	14	9.7%	0	0.0%	20	1.5%
	④ その他	8	6.9%	15	2.2%	2	0.6%	3	2.1%	0	0.0%	28	2.2%
(幼)・毎日実施・毎月2回実施・週1回実施 (小)・年13回実施・年14回実施・年15回実施・遊具は月2回、その他は月1回実施・毎月2回実施・8月を除く11回実施 (中)・8月を除く11回実施・年13回実施 (高)・体育施設月1回、その他は毎学期1回・前期1回、後期1回													
平成30年度の4月に、施設及び設備、遊具等の安全点検を実施しましたか。													
問4	① 実施した。	115	99.1%	659	96.9%	303	93.5%	91	63.2%	38	100.0%	1,206	92.6%
			-0.9P		+0.7P		+0.6P		+6.3P		+7.9P		+1.3P
	② 4月はできなかったが、5月実施する。	1	0.9%	21	3.1%	20	6.2%	27	18.8%	0	0.0%	69	5.3%
	③ 4月はできなかったが、6月実施する。	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	9	6.3%	0	0.0%	10	0.8%
④ 4月はできなかったが、7月実施する。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	11.8%	0	0.0%	17	1.3%	
平成30年度4月中に通学路あるいは学区周辺の点検、巡回を実施しましたか。													
問7	① 実施した。	98	84.5%	638	93.8%	277	85.5%	126	87.5%	32	84.2%	1,171	89.9%
			+3.5P		-1.2P		-3.6P		-0.7P		-7.9P		-1.5P
	② 4月は実施できなかったが、5月に実施する。	14	12.1%	34	5.0%	36	11.1%	11	7.6%	5	13.2%	100	7.7%
	③ 4月は実施できなかったが、6月に実施する。	1	0.9%	3	0.4%	7	2.2%	4	2.8%	0	0.0%	15	1.2%
④ 4月は実施できなかったが、7月に実施する。	3	2.6%	5	0.7%	4	1.2%	3	2.1%	1	2.6%	16	1.2%	

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。(複数回答除く)

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.3

【3 「危険箇所マップ」や「地域安全マップ」の作成、再確認、活用等について】

質 問 項 目		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
「地域安全マップ」や「危険箇所マップ」がありますか。(複数回答可)													
①交通安全に関する「地域安全マップ」等がある。		55	47.4%	627	92.2%	256	79.0%	76	52.8%	11	28.9%	1,025	78.7%
		+11.9P		+8.6P		+12.9P		+15.3P		+12.7P		+10.9P	
(複数回答可) 平成29年度の取組状況	ア 既存のマップがある	52	44.8%	484	71.2%	218	67.3%	68	47.2%	11	28.9%	833	64.0%
	イ 新規にマップを作成した	1	0.9%	167	24.6%	34	10.5%	3	2.1%	1	2.6%	206	15.8%
	ウ マップを活用した	5	4.3%	134	19.7%	43	13.3%	19	13.2%	1	2.6%	202	15.5%
	エ マップの修正を行った	3	2.6%	96	14.1%	24	7.4%	4	2.8%	0	0.0%	127	9.8%
②生活安全(防犯)に関する「地域安全マップ」等がある。		32	27.6%	524	77.1%	168	51.9%	52	36.1%	8	21.1%	784	60.2%
		+13.6P		+17.9P		+23.6P		+17.3P		+13.0P		+18.7P	
(複数回答可) 平成29年度の取組状況	ア 既存のマップがある	30	25.9%	385	56.6%	137	42.3%	49	34.0%	7	18.4%	608	46.7%
	イ 新規にマップを作成した	1	0.9%	141	20.7%	13	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	155	11.9%
	ウ マップを活用した	4	3.4%	99	14.6%	23	7.1%	9	6.3%	0	0.0%	135	10.4%
	エ マップの修正を行った	2	1.7%	79	11.6%	21	6.5%	2	1.4%	1	2.6%	105	8.1%
③災害安全(防災)に関する「地域安全マップ」等がある。		54	46.6%	388	57.1%	189	58.3%	72	50.0%	16	42.1%	719	55.2%
		+25.9P		+29.1P		+28.2P		+25.0P		+12.4P		+27.6P	
(複数回答可) 平成29年度の取組状況	ア 既存のマップがある	53	45.7%	300	44.1%	160	49.4%	59	41.0%	13	34.2%	585	44.9%
	イ 新規にマップを作成した	3	2.6%	74	10.9%	10	3.1%	1	0.7%	1	2.6%	89	6.8%
	ウ マップを活用した	7	6.0%	72	10.6%	25	7.7%	18	12.5%	2	5.3%	124	9.5%
	エ マップの修正を行った	5	4.3%	40	5.9%	15	4.6%	4	2.8%	1	2.6%	65	5.0%
④いずれの「地域安全マップ」、「危険箇所マップ」もない		41	35.3%	16	2.4%	31	9.6%	33	22.9%	17	44.7%	138	10.6%
		-14.3P		-5.4P		-10.3P		-22.2P		-17.5P		-9.7P	
平成30年度の予定	ア 上記の①～③のいずれかの「地域安全マップ」等を作成する予定がある。	6	5.2%	6	0.9%	4	1.2%	1	0.7%	0	0.0%	17	1.3%
	イ 上記の①～③のいずれかの「地域安全マップ」等の作成について検討中である。	25	21.6%	10	1.5%	26	8.0%	29	20.1%	10	26.3%	100	7.7%
	ウ 上記の①～③のいずれかの「地域安全マップ」等を作成する予定はない。	10	8.6%	0	0.0%	1	0.3%	3	2.1%	7	18.4%	21	1.6%
【理由】(幼)・園便りにて保護者に危険箇所を知らせているため。・保護者の送迎で、広範囲に渡っているため。・通園が保護者送迎のため。・保護者監視下のもとで遊んでいるため。・園児は基本的に保護者と行動を共にするから。(中)・時間的余裕がない。(高)・通学区域が広範囲で作成できない。・学校周辺の危険箇所において、定期的に職員による登下校指導を行っているため。・生徒の居住区が広域のため。(特支)・自力通学する児童生徒が少なく、学区も広いため。・自力登校している生徒に関しては、教員が同行し危険箇所の確認をした。・学区が広いため。・通学の際は、スクールバスや保護者の送迎のため、地域をほとんど歩行しないので必要性がないため。・自主通学生徒が高等部の20名程度であり、担任から個別に危険箇所の確認をしているため。													

問
11

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。(複数回答除く)

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.4

【4 交通安全（自転車安全利用を含む）に関する取組について（1）】

質 問 項 目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
以下の内容の交通安全教育や交通安全に関する研修会等を実施しましたか。												
（1）平成29年度取組内容（複数回答可）												
① 幼児児童生徒を対象とした、講義、講話、鑑賞形式の指導	103	88.8%	473	69.6%	203	62.7%	127	88.2%	20	52.6%	926	71.1%
		+5.3P		-2.2P		-1.9P		-2.8P		+1.2P		-1.6P
② 幼児児童生徒を対象とした、実技や体験形式の指導	102	87.9%	624	91.8%	129	39.8%	22	15.3%	20	52.6%	897	68.9%
		-3.8P		-1.5P		+0.4P		+3.5P		+9.4P		-0.5P
③ 幼児児童生徒を対象とした、平成29年度配付の交通安全啓発資料（自転車の安全利用に関するリーフレット）を活用した指導			326	47.9%	180	55.6%	78	54.2%	11	28.9%	595	50.2%
				+15.9P		+16.2P		+16.7P		+10.0P		
④ スケアード・ストレイト教育技法による指導	0	0.0%	9	1.3%	26	8.0%	15	10.4%	0	0.0%	50	3.8%
		-1.7P		-1.2P		-0.7P		+0.7P		-5.4P		-1.0P
⑤ 教職員や保護者等を対象とした指導や研修	46	39.7%	121	17.8%	65	20.1%	24	16.7%	6	15.8%	262	20.1%
		+1.7P		-0.7P		-4.1P		-2.7P		-8.5P		-1.9P
⑥ 実施していない	1	0.9%	1	0.1%	7	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	9	0.7%
【理由】(幼)・時間の確保ができなかった。(小)・不審者対応訓練に集中的に取り組んだため。 (中) 時間的余裕がなかった。機会がなかった。自転車通学者がいないから。交通安全教室は隔年で実施するため。研修の年間計画に基づいて実施しているため。												
問 ⑦ その他	1	0.9%	2	0.3%	1	0.3%	2	1.4%	4	10.5%	10	0.8%
8	(幼)・園外保育等の際、日常的に交通安全教育を実施 (小)・昼の放送で啓発放送を適時実施 ・交通安全啓発資料を教職員・保護者に配付 (中)・中学1年生対象の交通安全教室 (高)・交通安全作文(1年)、交通安全標語(2年) ・市、警察署員による自転車安全指導キャンペーン(登校指導)と講義 (特支)・防犯研修を優先して実施した。 ・学活にて指導 ・歩行訓練や自立活動の時間で実施 ・定期自力通学指導											
（2）平成30年度取組内容（予定も含む。）（複数回答可）												
① 幼児児童生徒を対象とした、講義、講話、鑑賞形式の指導	102	87.9%	487	71.6%	208	64.2%	132	91.7%	20	52.6%	949	72.9%
② 幼児児童生徒を対象とした、実技や体験形式の指導	111	95.7%	627	92.2%	139	42.9%	27	18.8%	23	60.5%	927	71.2%
③ 幼児児童生徒を対象とした、平成29年度配付の交通安全啓発資料（自転車の安全利用に関するリーフレット）を活用した指導			321	47.2%	180	55.6%	77	53.5%	13	34.2%	591	49.8%
④ スケアード・ストレイト教育技法による指導	0	0.0%	13	1.9%	29	9.0%	10	6.9%	1	2.6%	53	4.1%
⑤ 教職員や保護者等を対象とした指導や研修	47	40.5%	130	19.1%	70	21.6%	27	18.8%	8	21.1%	282	21.7%
⑥ 実施する予定はない	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%
【理由】(中)・今後実施を検討 ・自転車通学者がいないから												
⑦ その他	0	0.0%	1	0.1%	2	0.6%	2	1.4%	4	10.5%	9	0.7%
(小)・昼の放送で啓発放送を適時実施 (中)・中学1年生対象の交通安全教室の実施 (高)・市、警察署員による自転車安全指導キャンペーン(登校指導)と講義 ・自転車点検、通学路指導 (特支)・児童の実態に合わせて検討中 ・学活にて指導 ・歩行訓練や自立活動の時間に実施予定 ・定期自力通学指導、学期末の交通安全指導、自転車点検												

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.5

【4 交通安全（自転車安全利用を含む）に関する取組について（2）】

質 問 項 目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
貴校（園）では、「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（以下、「自転車条例」という。）の周知をどのように行いましたか。												
（1）平成29年度取組内容（複数回答可）												
① 幼児児童生徒に対し、チラシや資料を活用して、交通安全教育や説明等を行った。	33	28.4%	485	71.3%	242	74.7%	125	86.8%	13	34.2%	898	69.0%
		+3.6P		+5.8P		-1.4P		-1.4P		-3.6P		+2.9P
② 保護者に対し、PTA総会や懇談会、入学説明会等で、説明等を行った。	30	25.9%	169	24.9%	110	34.0%	106	73.6%	13	34.2%	428	32.9%
		-6.3P		+1.3P		+1.7P		+11.1P		+12.6P		+2.1P
③ 保護者に対し、チラシや手紙を配付した。	57	49.1%	389	57.2%	165	50.9%	34	23.6%	16	42.1%	661	50.8%
		+9.4P		+0.5P		+2.8P		-0.7P		-3.8P		+1.6P
④ 何もしていない。	17	14.7%	2	0.3%	2	0.6%	0	0.0%	4	10.5%	25	1.9%
【理由】(幼)・徒歩通園のため・自転車通園禁止のため・車で送迎が多いため・自転車に乗れる園児が少ないため・幼児は自転車を利用しないため・通園時に自転車に乗る園児がいないため・自転車については家庭に任せているため・幼稚園では扱っていないため (小)・自転車通学者がいないため・不審者対応訓練に集中的に取り組んだため (中)・今後実施予定のため・自転車通学者がいないため (特支)・自転車を利用している児童生徒がいないため・自転車通学生がいないため												
⑤ その他	7	6.0%	9	1.3%	2	0.6%	1	0.7%	4	10.5%	23	1.8%
(幼)・保護者に対してポスターやチラシを掲示をした・交通安全教室の実施・高等での保護者への啓発・5歳児親子での自転車指導 (小)・自転車交通安全教室の実施・交通公園で安全な自転車の乗り方を学習・PTAによる自転車点検・自転車の正しい乗り方を各教室に掲示・全校集会で指導・学活で説明 (中)・下校指導による交通安全指導・H30年度新設校 (高)・ホームページに掲載 (特支)・校内にポスターを掲示・交通安全教室で実施・学部集会で周知、指導した・自転車を利用する生徒に個別に指導を行った												
貴校（園）では、「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」（以下、「自転車条例」という。）の周知をどのように行いましたか。												
（2）平成30年度取組内容（予定を含む。）（複数回答可）												
① 幼児児童生徒に対し、チラシや資料を活用して、交通安全教育や説明等を行った。（行う予定である。）	39	33.6%	506	74.4%	249	76.9%	127	88.2%	16	42.1%	937	72.0%
② 保護者に対し、PTA総会や懇談会、入学説明会等で、説明等を行った。（行う予定である。）	39	33.6%	188	27.6%	118	36.4%	109	75.7%	11	28.9%	465	35.7%
③ 保護者に対し、チラシや手紙を配付した。（行う予定である。）	62	53.4%	394	57.9%	173	53.4%	38	26.4%	18	47.4%	685	52.6%
④ 何もしていない。（何もする予定はない。）	8	6.9%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	3	7.9%	12	0.9%
【理由】(幼)・徒歩通園のため・自転車通園禁止のため・自転車に乗れない園児が多いため・幼児は自転車を利用しないため・路上を子どもだけで自転車に乗ることを推奨していないため・通園時に自転車に乗る園児がいないため・自転車については保護者に任せている。(中)・自転車通学者がいないから (特支)・自転車を利用している児童がいないため・自転車通学生がいないため												
⑤ その他	5	4.3%	8	1.2%	1	0.3%	1	0.7%	4	10.5%	19	1.5%
(幼)・保護者に対してポスターやチラシの掲示による周知・自転車交通安全教室・ポスターの掲示・口頭での保護者への啓発・5歳児親子での自転車指導 (小)・各学級で指導・交通安全教室・交通公園で安全な自転車の乗り方を学習・PTAによる自転車点検・正しい自転車の乗り方を各教室に掲示・全校集会で指導 (中)・下校指導による交通安全指導 (高)ホームページに掲載 (特支)・校内にポスター掲示・交通安全教室・学年部集会で周知、指導予定・自転車を利用する生徒に個別に指導を行った												

問
13

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.6

【4 交通安全（自転車安全利用を含む）に関する取組について（3）】

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
貴校（園）では、平成29年9月に配付した「千葉県の安全利用に関する教育用リーフレット」、「授業展開例」及び「ワークシート例」を、どのような機会に活用しましたか。 （1）平成29年度の実績（複数回答可）												
① 学活、またはホームルーム活動において、説明等を行った。			585	86.0%	245	75.6%	110	76.4%	22	57.9%	962	81.1%
② 学年集会や全校集会等において、説明等を行った。			86	12.6%	108	33.3%	57	39.6%	9	23.7%	260	21.9%
③ 総合的な学習の時間や道徳等の教科で、授業を行った。			29	4.3%	12	3.7%	5	3.5%	1	2.6%	47	4.0%
【教科名】(小)・総合的な学習の時間・道徳・生活科・学級活動 (中)・総合的な学習の時間・社会・保健体育・道徳・学級活動 (高)・保健・総合的な学習の時間・道徳												
④ リーフレット等の配付のみで説明等は行っていない。			38	5.6%	15	4.6%	5	3.5%	7	18.4%	65	5.5%
【理由】(小)・時数の確保が難しかった。・自転車通学者がいないため・年間計画に予定がなかったから・実技等を行うから・教科の指導内容が多すぎて時間がとれない・自転車の安全利用について、交通安全教室等で指導済みのため・保険については、保護者の自由加入のため特に説明は行っていない・リーフレットの周知のみで終わった・車での移動が多い地域のため (中)・時間の確保が難しかったため・自転車通学者がいないため・安全に関する集会を行ったため (高)・リーフレットを使用した指導法について、教職員に通知出来なかった・リーフレット配付前に同内容について指導済みのため・時間の確保が難しかったため・安全講話で同内容について、警察官から話をしてもらったため (特支)・自転車で通学する児童生徒がいないため・自転車を利用している児童がいないため・自転車通学を認めておらず、保護者への啓発を中心に考えているため												
⑤ その他			3	0.4%	1	0.3%	1	0.7%	4	10.5%	9	0.8%
(小)・交通安全教室で配付し、資料として活用した (中)・H30年度新設校 (高)・ホームページに掲載 (特支)・自転車を利用する児童生徒がいない・自力通学生のうち自転車を利用する生徒へ配付、説明・自転車利用者が少なく、放課後個別に指導・学級の実態に合わせて指導												
（2）平成30年度の実績（予定を含む。）（複数回答可）												
① 学活、またはホームルーム活動において、説明等を行った。（行う予定である。）			613	90.1%	253	78.1%	113	78.5%	24	63.2%	1,003	84.6%
② 学年集会や全校集会等において、説明等を行った。（行う予定である。）			110	16.2%	130	40.1%	60	41.7%	10	26.3%	310	26.1%
③ 総合的な学習の時間や道徳等の教科で、授業を行った。（行う予定である。）			34	5.0%	11	3.4%	5	3.5%	1	2.6%	51	4.3%
【教科名】(小)・総合的な学習の時間・道徳・生活科・社会科・学級活動 (中)・総合的な学習の時間・社会・保健体育・道徳・学級活動 (高)・保健・総合的な学習の時間・道徳												
④ リーフレット等の配付のみで説明等は行っていない。（行う予定はない。）			23	3.4%	10	3.1%	2	1.4%	6	15.8%	41	3.5%
【理由】(小)・自転車通学者がいないため・昨年度より他の教育活動が増えているため・自転車安全教室の開催に合わせて配付したため・交通安全教室棟で自転車の安全利用の説明を行っているから・時間を確保していないから・年間計画に予定がないため・実技等を行うから・自転車の安全利用について、交通安全教室等で指導済みのため・時間確保が難しかったため・保険については、保護者の自由加入のため特に説明は行っていない (中)・時間の確保が難しかったため・自転車通学者がいないため・6月以降に実施予定 (高)・時間の確保が難しかったため・同様の内容を安全講話で警察官に話してもらったため (特支)・自転車で通学する児童生徒がいないため・自転車を利用している児童がいないため・保護者への啓発を中心に考えているため												
⑤ その他			3	0.4%	1	0.3%	1	0.7%	4	10.5%	9	0.8%
(小)・交通安全教室で配付し、資料として活用した (中)・1年生自転車教室で活用 (高)・ホームページに掲載 (特支)・内容に応じて検討・自力通学生のうち自転車を利用する生徒へ配付、説明・自転車利用者が少なく、放課後個別に指導・学級の実態に合わせて指導												

問
14

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.7

【4 交通安全（自転車安全利用を含む）に関する取組について（4）】

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計		
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
平成30年度、自転車乗車時のヘルメット着用について、貴校（園）ではどのように指導対応していますか。													
問15	① 自転車乗車時は常にヘルメット着用を義務付けている。	4	3.4%	144	21.2%	68	21.0%	0	0.0%	6	15.8%	222	17.1%
	② 登下校時など、学校活動に関わる乗車時のヘルメット着用を義務づけている。	2	1.7%	14	2.1%	172	53.1%	0	0.0%	7	18.4%	195	15.0%
	※小・中学校の自転車通学者については、全ての学校で登下校時のヘルメット着用を義務づけている。												
	③ ヘルメットの着用を推奨しているが、義務付けている場面はない。	74	63.8%	521	76.6%	71	21.9%	143	99.3%	15	39.5%	824	63.3%
④ 特に何も指導していない。	36	31.0%	1	0.1%	13	4.0%	1	0.7%	10	26.3%	61	4.7%	
【理由】(幼)・自転車通園がないから・徒歩通園のため・自転車通園禁止のため・保護者の判断に任せているため・対象年齢が低い(乳幼児のため)・幼児は自転車を利用しないため・園児が公道で自転車に乗る場面がないから・園活動では、自転車の使用がないため・自転車の指導はしていないため(小)・自転車通学の児童がいないため(中)・部活動での使用時には、着用を義務づけている・自転車通学者がいない・推奨はしている・全体ではなく、個別に指導・自転車通学を許可していないため・自宅周辺での自転車乗車については、家庭に任せている(高)・高校生には着用は難しい(特支)・自転車を利用する児童生徒がいないため・自転車で通学する児童生徒がいないため・自転車通学を認めていないため													
平成30年度、自転車損害賠償保険等について、貴校（園）ではどのような対応をしていますか。													
問16	① 全校児童生徒に対し、加入を推奨している。	16	13.8%	559	82.2%	245	75.6%	81	56.3%	5	13.2%	906	69.6%
	② 自転車通学者に加入を推奨している。	8	6.9%	47	6.9%	62	19.1%	63	43.8%	22	57.9%	202	15.5%
	③ 特に何もしていない。	92	79.3%	74	10.9%	17	5.2%	0	0.0%	11	28.9%	194	14.9%
【理由】(幼)・自転車通園者がいないから・保護者に判断を任せているから・徒歩通園のため・自転車通園禁止のため・園児単独での自転車使用は禁止のため・道路上で乗ることはほぼないと思われるため・自転車に乗れる児童がほとんどいないため・対象年齢が低いため・保護者による送迎のため・自転車保険に限らず、交通災害共済の加入を推奨しているため・交通安全教室で、県警、安全協会の方に事例を交えて話してもらったから・自動車事故を想定し、市町村交通災害共済の加入を推奨している(小)・保護者に任せているため・自転車通学者がいないため・自転車通学を許可していないため・存在は知らせているが加入は任意のため・説明する機会を設けることができないため・家庭の経済状況が異なる中で、新たな負担を一律に推奨することはできない・今後周知する場を設ける予定・資料の配付のみしている・加入斡旋の必要性を感じないため・自転車通学者がいないため、資料を置いて自由にとってもらおう・状況を見て、今後推奨するか判断する・保険のパンフレットは配付している・家庭の実態が多様なため(中)・自転車通学者がいないため・部活動で利用する場合、加入を呼びかけている・任意のものなので家庭に判断を任せている・今後加入を推奨していく予定(特支)・自転車を利用する児童生徒がいないから・自転車通学者がいないから・自転車通学を認めていないため													
問16で①、②を選んだ学校（園）について、自転車損害賠償保険等の加入をどのように推奨していますか。（複数回答可）													
問17	① 保護者に対し、文書等を配付して、自転車損害賠償保険等への加入の重要性や、自転車条例の中で保護者の努力義務であること等を周知した。	10	8.6%	451	66.3%	204	63.0%	52	36.1%	18	47.4%	735	56.5%
	② 保護者に対し、入学式、懇談会、PTA総会等の場で、自転車損害賠償保険等への加入の重要性や、自転車条例の中で保護者の努力義務であること等を周知した。	14	12.1%	150	22.1%	112	34.6%	131	91.0%	14	36.8%	421	32.3%
	③ 児童生徒に対し、学活、交通安全教室等で、自転車損害賠償等の加入の重要性について周知した。	2	1.7%	152	22.4%	133	41.0%	57	39.6%	7	18.4%	351	27.0%
	④ その他	3	2.6%	11	1.6%	4	1.2%	0	0.0%	2	5.3%	20	1.5%
(幼)・警察署共催の交通安全教室で自転車損害賠償保険等の加入について話をしてもらった・保護者に任せている(小)・加入書類を配付した・学校だよりを通じて推奨している・学校だよりで、自転車損害賠償保険等への加入の重要性や、自転車条例の中で保護者の努力義務であることを周知した・PTA理事会で必要性について説明した(中)・リーフレット等の配付・掲示物での周知(ポスターの掲示等)													

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.8

【4 交通安全（自転車安全利用を含む）に関する取組について（5）】

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計		
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
平成30年度、児童生徒の自転車損害賠償保険等の加入状況について把握していますか。													
問18	① 全校児童生徒について加入状況を把握している。	1	0.9%	13	1.9%	38	11.7%	39	27.1%	2	5.3%	93	7.1%
	② 自転車通学者のみ加入状況を把握している。	0	0.0%	1	0.1%	21	6.5%	40	27.8%	12	31.6%	74	5.7%
	③ 4月末現在で把握していないが、今年度中に把握する予定である。	17	14.7%	329	48.4%	174	53.7%	58	40.3%	11	28.9%	589	45.2%
	④ 把握していない。（把握する予定もない。）	98	84.5%	337	49.6%	91	28.1%	7	4.9%	13	34.2%	546	41.9%
(幼)・自転車通園者がいないから・保護者に対応を任せているから・個人の希望で加入するから・加入している人がほとんどいないから・自転車に乗れる園児がほとんどいないから・園児が道路で自転車に乗ることがないから。・交通災害共済の加入を勧めているから。(小)・加入が強制でないから。保護者に任せているから。保護者の任意のため、把握するの必要を感じないから。・自転車通学者がいないから。推奨はするが、加入は保護者に一任しているから。家庭の任意加入のため、把握が難しいから。・保険加入の推奨はしているが、確認はしていないため。(中)・自転車通学者がいないため。・各家庭の判断に任せているため。・個人で加入しているため、把握は困難であるから。・交通災害共済の加入は把握しているが、その他の把握はできないから。・任意保険で、学校に強制力がないから。(高)・把握の必要性を感じないため。・任意加入のため。・PTAで加入している高P連総合保険で補償されているため。(特支)・自転車を利用する児童生徒がいないため。・自転車通学者がいないため。自転車通学を認めていないため。・保護者の対応に一任しているため。													
児童生徒の自転車損害賠償保険等の加入人数を記入してください。													
(1) 全校児童について加入状況を把握している（問18で①と回答した）学校について ※①は、全児童生徒に対する割合、②～④は①に対する割合													
問19	① 全校児童生徒数(人)	/	/	3,111	1.2%	13,313	10.7%	/	/	/	/	/	/
	② 自転車損害賠償保険等への加入者数(人)[%は、①の中の割合]	/	/	2,101	67.5%	7,268	54.6%	/	/	/	/	/	/
	③ 自転車損害賠償保険等への未加入者数(人)[%は、①の中の割合]	/	/	580	18.6%	5,284	39.7%	/	/	/	/	/	/
	④ 自転車損害賠償保険等への加入の有無がわからない(人)[%は、①の中の割合]	/	/	430	13.8%	761	5.7%	/	/	/	/	/	/
(2) 自転車通学者について加入状況を把握している（問18で②と回答した）学校について ※①は、全自転車通学者に対する割合、②～④は①に対する割合													
① 自転車通学者数(人)	/	/	2	0.4%	2,099	6.5%	/	/	/	/	/	/	/
② 自転車損害賠償保険等への加入者数(人)[%は、①の中の割合]	/	/	2	100.0%	2,035	97.0%	/	/	/	/	/	/	/
③ 自転車損害賠償保険等への未加入者数(人)[%は、①の中の割合]	/	/	0	0.0%	32	1.5%	/	/	/	/	/	/	/
④ 自転車損害賠償保険等への加入の有無がわからない(人)[%は、①の中の割合]	/	/	0	0.0%	32	1.5%	/	/	/	/	/	/	/

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.9

【5 生活安全（防犯を含む）に関する取組について（1）】

質問項目	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
以下の内容の防犯訓練や防犯に関する研修会等を実施しましたか。												
（1）平成29年度取組内容（複数回答可）												
① 幼児児童生徒を対象とした、講義、講話、鑑賞形式の指導	77	66.4%	459	67.5%	189	58.3%	120	83.3%	10	26.3%	855	65.7%
		+1.9P		+3.7P		+2.4P		+16.6P		-14.2P		+4.1P
② 幼児児童生徒を対象とした、実技や体験形式の指導	103	88.8%	546	80.3%	121	37.3%	17	11.8%	12	31.6%	799	61.4%
		+4.5P		+2.4P		+8.1P		+3.5P		+4.6P		+4.0P
③ 教職員や保護者等を対象とした指導や研修	43	37.1%	268	39.4%	124	38.3%	29	20.1%	29	76.3%	493	37.9%
		+9.0P		+1.3P		+9.1P		+2.0P		+6.0P		+4.2P
④ 実施していない	2	1.7%	13	1.9%	10	3.1%	6	4.2%	3	7.9%	34	2.6%
【理由】(幼)・時間の確保ができなかったため。・予定が組めなかったため。(小)・担当者不在のため。・時間確保が難しかったため。・予定が組めなかったため。・別の避難体験学習を行ったため。・隔年で実施しているため。・新たな対策を検討するため。(中)・時間確保が難しかったため。・地震の避難訓練に重点を置いたため。・先進的な取組を研究し、30年度から実施予定のため。・予定が合わなかったため。・他の行事と重なってしまったため。・3年に1回実施予定のため。(高)・学校行事の優先事項から外れたため。・体育館工事で、全校生徒が集まる場所が確保出来なかったため。・時間確保が難しかったため。・他の研修等で実施する機会がなかったため。(特支)・火災と防犯の研修を隔年で実施しているため。・隔年実施のため。												
⑤ その他	0	0.0%	1	0.1%	6	1.9%	2	1.4%	2	5.3%	11	0.8%
(小)・計画していたが、感染症の流行により実施できなかった。(中)・引き継ぎ資料がなく、不明。・学活の時間に担任から指導。・3年に1度で計画している。・一部の教員が不審者対応研修に参加し、研修を深めた。(高)・教職員を対象とした講義と体験研修・HR等で指導(特支)・教職員対象で実施・危険性のある場所の写真を示しているポスターを掲示した。												
（2）平成30年度取組内容（予定も含む。）（複数回答可）												
① 幼児児童生徒を対象とした、講義、講話、鑑賞形式の指導	77	66.4%	469	69.0%	193	59.6%	123	85.4%	9	23.7%	871	66.9%
② 幼児児童生徒を対象とした、実技や体験形式の指導	105	90.5%	553	81.3%	131	40.4%	15	10.4%	14	36.8%	818	62.8%
③ 教職員や保護者等を対象とした指導や研修	44	37.9%	302	44.4%	127	39.2%	34	23.6%	30	78.9%	537	41.2%
④ 実施する予定はない	0	0.0%	0	0.0%	5	1.5%	4	2.8%	0	0.0%	9	0.7%
【理由】(中)・今後実施を検討・昨年実施したため。・H32年度に実施予定のため。(高)・学校行事の優先事項から外れたため。・時間の確保が難しいため。												
⑤ その他	0	0.0%	1	0.1%	3	0.9%	1	0.7%	2	5.3%	7	0.5%
(小)・校内安全部から周知の予定。(中)・学活の時間に担任から指導。・不審者対応における避難訓練・マニュアルの見直しを行い、職員・生徒に周知していく予定。(高)・HR等で指導予定。(特支)・教職員対象で実施予定。・生徒が見やすいようにポスターを玄関のところに掲示している。												
平成30年度、学校（園）敷地内や教室へ不審者の侵入を防ぐための取組は、どのような方法で実施していますか。（複数回答可）												
① 来訪者の名前等の記入や名札着用	73	62.9%	645	94.9%	289	89.2%	141	97.9%	37	97.4%	1,185	91.0%
② 防犯カメラの設置	33	28.4%	289	42.5%	171	52.8%	36	25.0%	6	15.8%	535	41.1%
③ 学校（園）の教職員等での巡回	82	70.7%	502	73.8%	232	71.6%	95	66.0%	21	55.3%	932	71.6%
④ 出入口の限定と、人の出入りの把握	111	95.7%	511	75.1%	229	70.7%	87	60.4%	28	73.7%	966	74.2%
⑤ 空き教室等の施錠	62	53.4%	338	49.7%	196	60.5%	74	51.4%	12	31.6%	682	52.4%
⑥ 職員による来訪者への声かけの徹底	100	86.2%	581	85.4%	252	77.8%	107	74.3%	30	78.9%	1,070	82.2%
⑦ 保護者やスクールガード等、地域の住民による巡回	15	12.9%	333	49.0%	79	24.4%	10	6.9%	3	7.9%	440	33.8%
⑧ 警備員を常駐（幼児児童生徒のいる時間）	0	0.0%	28	4.1%	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	30	2.3%
⑨ その他	2	1.7%	5	0.7%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	8	0.6%
(幼)・ダミーの防犯カメラの設置・玄関の施錠(小)・腕章の活用・昇降口を閉める・看板の設置・警備員の一斉巡回・閉門している(施錠はしていない。)・職員室職員による校門の監視(中)・門扉の閉門をし、利用者はそのたびに開門して入場する。												

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）

平成30年度 学校安全強化月間の調査結果

No.10

【5 生活安全（防犯を含む）に関する取組について（2）】

質 問 項 目		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
貴校（園）の防犯ボランティア（スクールガード等）の人数を記入してください。													
問 12	① 平成29年度(人数)	総数 1,922	平均 16.6	総数 22,862	平均 33.6	総数 4,981	平均 15.4	総数 198	平均 1.4	総数 0	平均 0.0	総数 29,963	平均 23.0
	② 平成30年度(人数)	総数 1,685	平均 14.5	総数 23,385	平均 34.4	総数 4,131	平均 12.8	総数 173	平均 1.2	総数 0	平均 0.0	総数 29,374	平均 22.6
学区内の「子ども110番の家」の数を教えてください（以下 小学校のみ回答）													
問 20	① 平成29年度(軒)※平均件数(軒)	/	/	49,818	73.3	/	/	/	/	/	/	/	/
	② 平成30年度(軒)※平均件数(軒)(平成30年5月1日現在)	/	/	50,916	74.9	/	/	/	/	/	/	/	/
「子ども110番の家」の設置及び推進等を中心となっていて行っているのはどこですか。（いずれか1つを選択）													
問 21	① 学校(PTAを含む)	/	/	445	65.4%	/	/	/	/	/	/	/	/
	② 教育委員会(市町村部局を含む)	/	/	118	17.4%	/	/	/	/	/	/	/	/
	③ 地域住民	/	/	33	4.9%	/	/	/	/	/	/	/	/
	④ 地域関係団体(区長会・防犯協会・青少年健全育成協議会等)	/	/	77	11.3%	/	/	/	/	/	/	/	/
	⑤ その他	/	/	8	1.2%	/	/	/	/	/	/	/	/
・市の部局 ・警察署 ・交通安全協会 ・ポスターは地域に貼ってあるが、設置者について把握していない。													

※割合については、四捨五入しているため、各構成率の和が100%にならない場合があります。（複数回答除く）